



奈良県知事

荒井 正吾

日本列島では、我々の主食である米の栽培に必要な大量の水を天から頂くことができます。長年に渡る稲作は6月の大量降雨によって可能となってきました。

しかし、大雨も度が過ぎると災いを引き起こします。奈良盆地では、主流である大和川の大和湾への出口である亀の瀬が狭いため、流す対策が充分行えず、奈良盆地内に一時大量降雨を貯留させる対策が不可欠です。大和川周辺に国の主体的な直轄遊水池の整備に合わせて、大和川の支川から溢れがないよう県が主体となって内水対策にも取り組み、かつての大和川大洪水が二度と起きないようにしたいと思っています。

一方、6月の雨は水の恵みを実感させてくれる雨でもあります。大和の山と河川を通じた水循環は山や盆地の生物を生き生きとさせてくれます。この時期の大和の自然の恵みを味わうことのできる我々は大変な幸せ者だと思います。

人権コーナー

毎月11日は人権を確かめあう日



ひかりちゃん てんいち先生

**自分の生き方は自分で選ぶ
つながりあって参画社会**

この春就職した人はそろそろ仕事の流れもわかり、職場になじんできた頃でしょうか。そんな皆さんは、これからの長い人生の中で多くの出会いや経験を重ね、キャリアを積んでいかれると思います。また、生活の中でも結婚や子育て、介護などさまざまな人生の節目を迎える人もいることでしょう。このようなときには仕事との両立に悩むことがあるかもしれません。

日本では、働く女性の約半数が第1子出産を機に仕事を辞めています。その背景には、「男は仕事、女は家庭」といった意識が働いていることも要因と考えられます。「男だから」「女だから」といった固定的な性別役割分担意識で、自分が選択したい生き方をあきらめていることはありませんか。

「自分の生き方は自分で選ぶ つながりあって参画社会」これは、奈良県女性センターで開催する「男女共同参画週間イベント2017」のキャッチフレーズです。

6月30日から7月2日までの3日間、男女共同参画の意識啓発のため県内で活動するグループの取り組み紹介や講演会などを行います（P20で紹介）。

この機会に、男女を問わず自分らしい生き方で個性と能力を十分に発揮できる社会の大切さについて考えてみませんか。

[なら男女共同参画週間イベント2017](#) **検索**

今月の
ポスター



斑鳩町立斑鳩小学校 6年
ひろた なつみ
廣田 菜摘美さん



桜井市立桜井中学校 3年
いしばし やまと
石橋 優さん

※学校名・学年・氏名は発表時のものです。

**クイズ&
プレゼント**

正解者の中から抽選で
**十津川村の焼酎
「いものかぶ」を
10名にプレゼント!**

(P18で紹介)



〇〇に当てはまる文字を教えてください。

Q 自然災害時に高齢者等が避難を開始する段階は？
(平成29年1月に改定されました)

A 避難〇〇・高齢者等避難開始

ヒントは
5ページ

4月号の答えは“4778”でした。応募総数201件。

ハガキに答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。ホームページ(www.pref.nara.jp/30222.htm)からも6/1以降応募できます。
※個人情報、プレゼントの発送以外には使用いたしません。

締め切りは
6月30日
(消印有効)